

## 新型コロナウイルス感染症による地域公共交通の利用実態の変化について

□調査期間 令和5年8月21日～9月8日

和歌山市の交通政策のマスタープランである『和歌山市地域公共交通計画及び和歌山市都市・地域総合交通戦略』を改定するにあたり、新型コロナウイルス感染症による外出頻度や公共交通利用実態の変化等を把握し、課題を明確にすることを目的に実施します。

《説明》

□調査の趣旨 このアンケート調査は、新型コロナウイルス感染症（以降「コロナ」と省略します）の感染拡大に伴い、3時点（コロナ前、コロナ禍、5類感染症移行後）における、皆様の移動実態や変化、その要因の把握、今後の公共交通の利用意向等を把握することを目的としております。3時点につきましては、下記のとおりとさせていただきます。

- ① コロナ前 : 令和元年10月頃(コロナ感染者がいなかった時)
- ② コロナ禍 : 令和2年4月頃(最初の緊急事態宣言発出時)～令和5年5月7日(5類感染症移行前)
- ③ 5類感染症移行後 : 令和5年5月8日(5類感染症移行)以降

□対象者数 1074人(令和5年8月21日現在)

□回答者数 688人

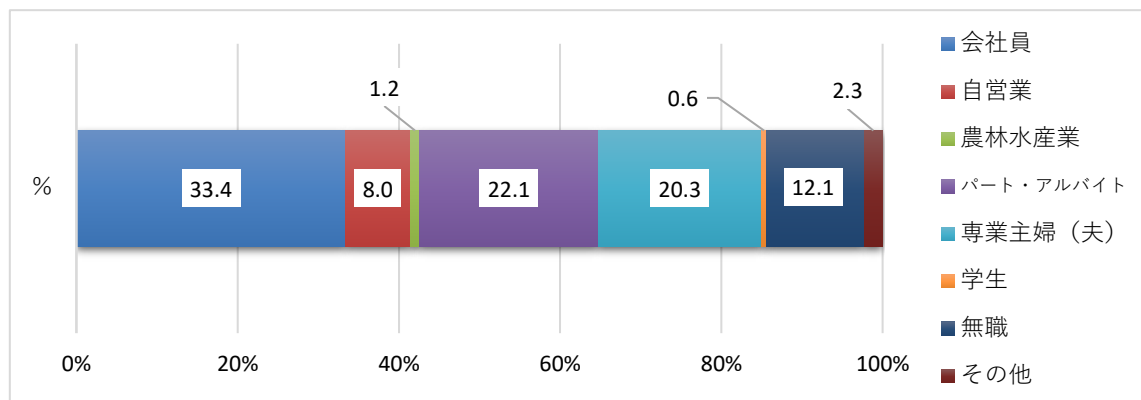
□回答率 64.1%

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

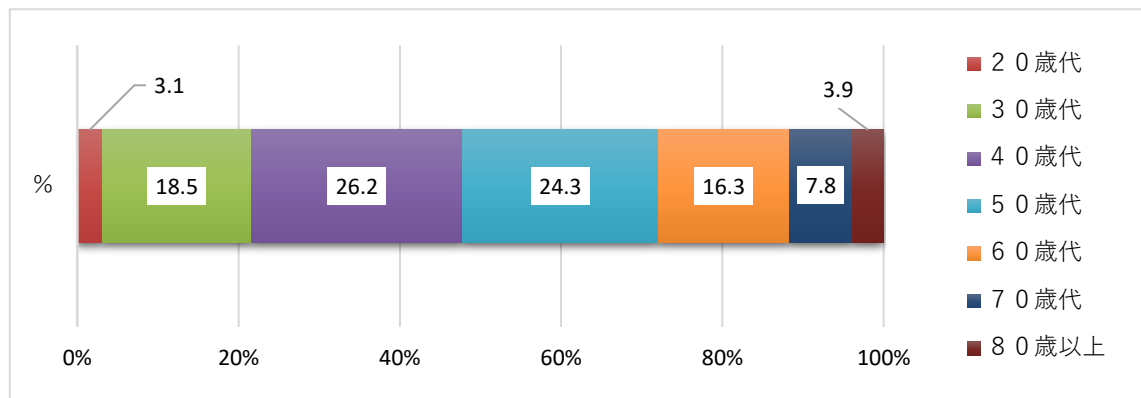
【職業】

内訳	人数	%
会社員	230	33.4
自営業	55	8.0
農林水産業	8	1.2
パート・アルバイト	152	22.1
専業主婦(夫)	140	20.3
学生	4	0.6
無職	83	12.1
その他	16	2.3
合計	688	100.0



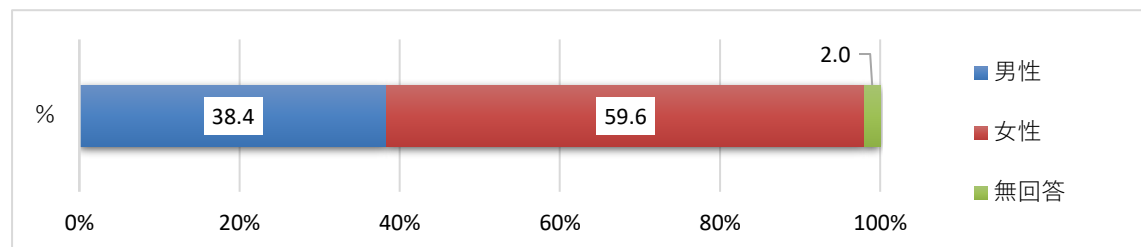
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	21	3.1
30歳代	127	18.5
40歳代	180	26.2
50歳代	167	24.3
60歳代	112	16.3
70歳代	54	7.8
80歳以上	27	3.9
合計	688	100.1



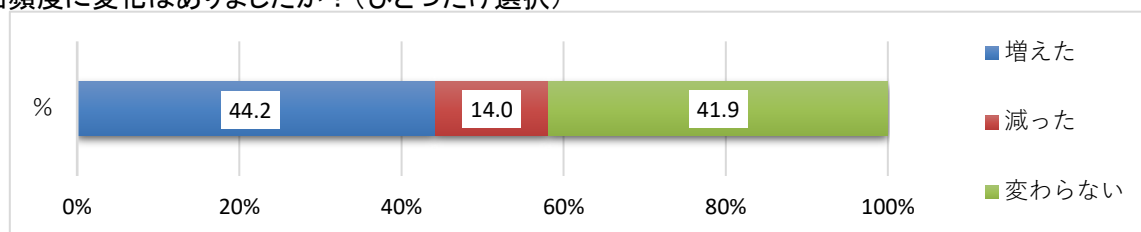
【性別】

内訳	人数	%
男性	264	38.4
女性	410	59.6
無回答	14	2.0
合計	688	100.0



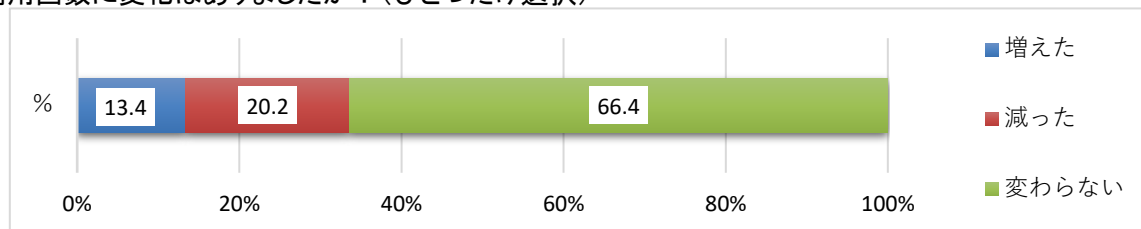
【Q2】5類感染症移行後、コロナ禍と比較して、日常における外出頻度に変化はありましたか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
増えた	304	44.2
減った	96	14.0
変わらない	288	41.9
合計	688	100.1



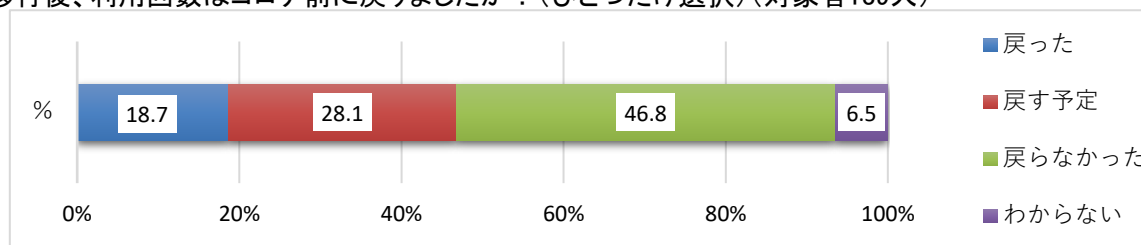
【Q3】コロナ禍において、コロナ前と比較して、公共交通機関の利用回数に変化はありましたか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
増えた	92	13.4
減った	139	20.2
変わらない	457	66.4
合計	688	100.0



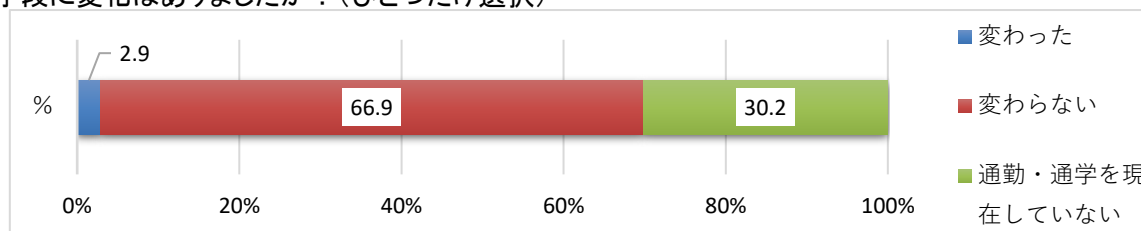
【Q4】Q3で「減った」と回答された方にお聞きます。5類感染症移行後、利用回数はコロナ前に戻りましたか？（ひとつだけ選択）（対象者139人）

内訳	人数	%
戻った	26	18.7
戻す予定	39	28.1
戻らなかった	65	46.8
わからない	9	6.5
合計	139	100.1



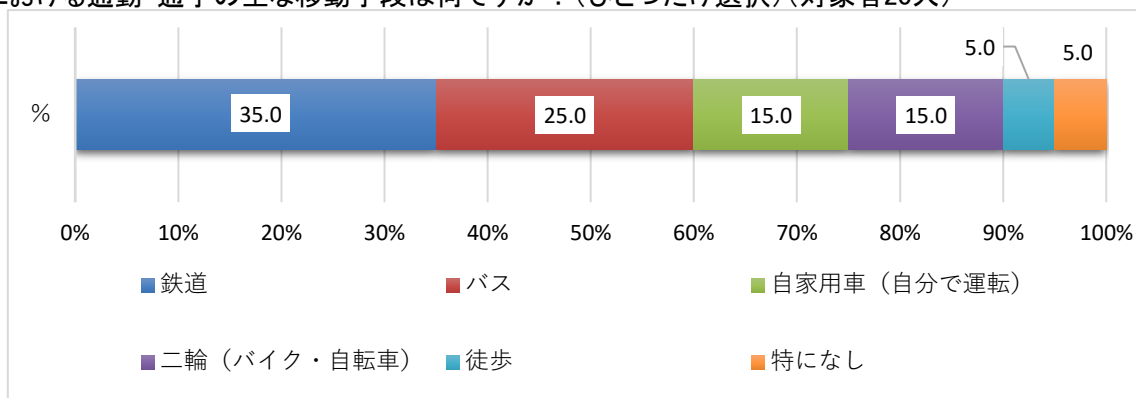
【Q5】コロナ禍において、コロナ前と比較して、通勤・通学の移動手段に変化はありましたか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
変わった	20	2.9
変わらない	460	66.9
通勤・通学を現在していない	208	30.2
合計	688	100.0



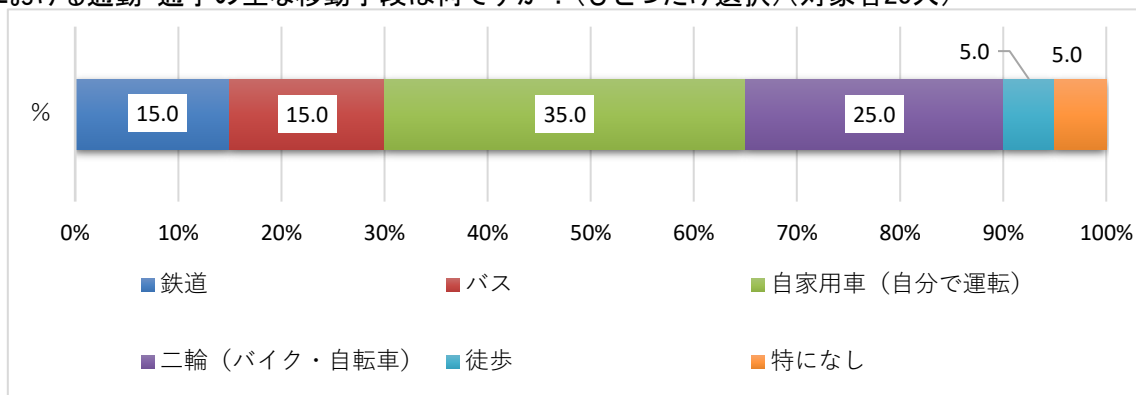
【Q6】Q5で「変わった」と回答された方にお聞きします。コロナ前における通勤・通学の主な移動手段は何ですか？（ひとつだけ選択）（対象者20人）

内訳	人数	%
鉄道	7	35.0
バス	5	25.0
自家用車(自分で運転)	3	15.0
自家用車(家族等の送迎)	0	0.0
二輪(バイク・自転車)	3	15.0
徒歩	1	5.0
特になし	1	5.0
その他	0	0.0
合計	20	100.0



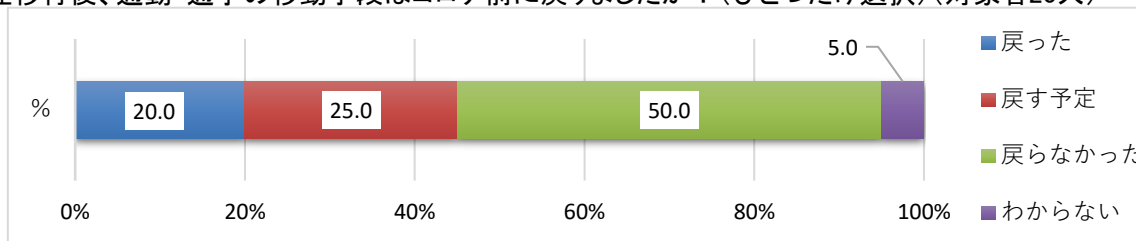
【Q7】Q5で「変わった」と回答された方にお聞きします。コロナ禍における通勤・通学の主な移動手段は何ですか？（ひとつだけ選択）（対象者20人）

内訳	人数	%
鉄道	3	15.0
バス	3	15.0
自家用車(自分で運転)	7	35.0
自家用車(家族等の送迎)	0	0.0
二輪(バイク・自転車)	5	25.0
徒歩	1	5.0
特になし	1	5.0
その他	0	0.0
合計	20	100.0



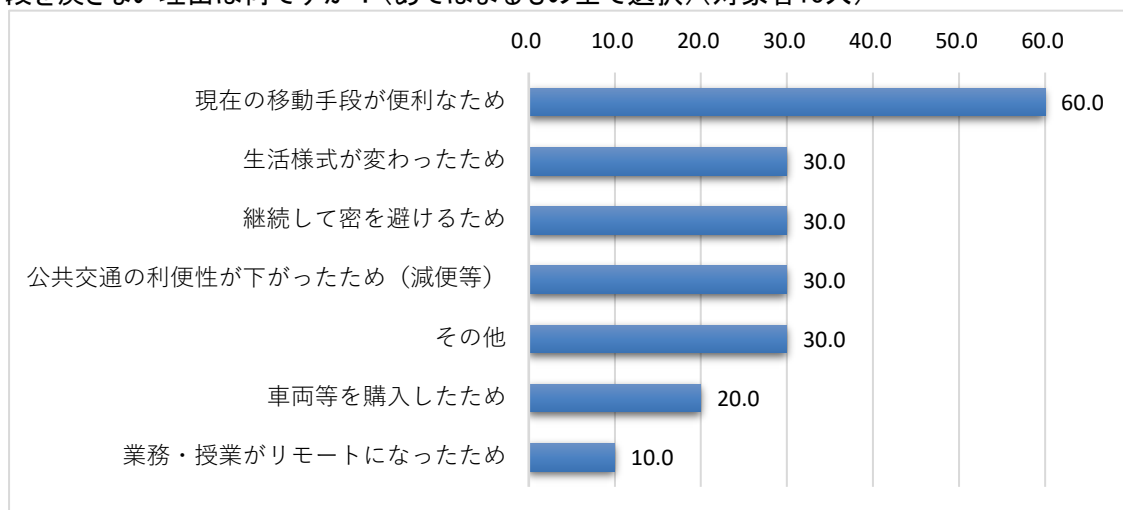
【Q8】Q5で「変わった」と回答された方にお聞きします。5類感染症移行後、通勤・通学の移動手段はコロナ前に戻りましたか？（ひとつだけ選択）（対象者20人）

内訳	人数	%
戻った	4	20.0
戻す予定	5	25.0
戻らなかった	10	50.0
わからない	1	5.0
合計	20	100.0



【Q9】Q8で「戻らなかった」と回答された方にお聞きます。移動手段を戻さない理由は何ですか？(あてはまるもの全て選択)(対象者10人)

内訳	人数	%
現在の移動手段が便利のため	6	60.0
生活様式が変わったため	3	30.0
継続して密を避けるため	3	30.0
公共交通の利便性が下がったため(減便等)	3	30.0
その他	3	30.0
車両等を購入したため	2	20.0
業務・授業がリモートになったため	1	10.0

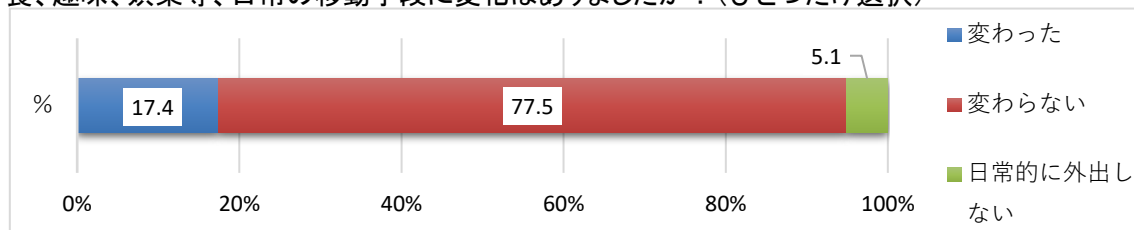


【Q9-1】その他(対象3人)

- 引っ越しのため。
- コロナ禍で引越しをしたため。
- コロナが不安

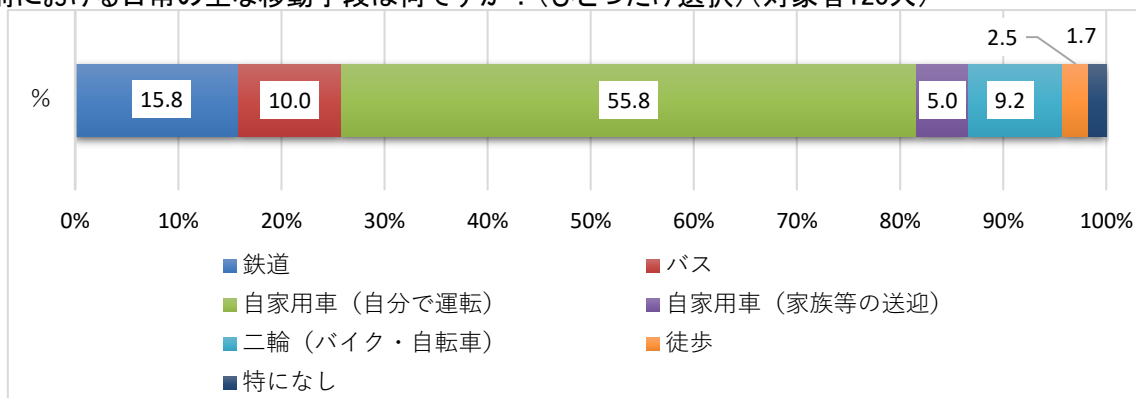
【Q10】コロナ禍において、コロナ前と比較して、買い物、通院、外食、趣味、娯楽等、日常の移動手段に変化はありましたか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
変わった	120	17.4
変わらない	533	77.5
日常的に外出しない	35	5.1
合計	688	100.0



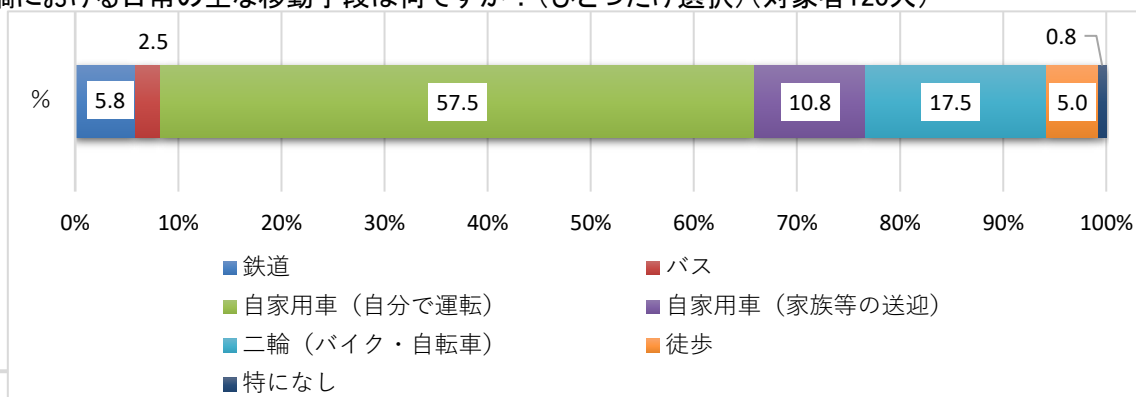
【Q11】Q10で「変わった」と回答された方にお聞きします。コロナ前における日常の主な移動手段は何ですか？（ひとつだけ選択）（対象者120人）

内訳	人数	%
鉄道	19	15.8
バス	12	10.0
自家用車(自分で運転)	67	55.8
自家用車(家族等の送迎)	6	5.0
二輪(バイク・自転車)	11	9.2
徒歩	3	2.5
特になし	2	1.7
その他	0	0.0
合計	120	100.0



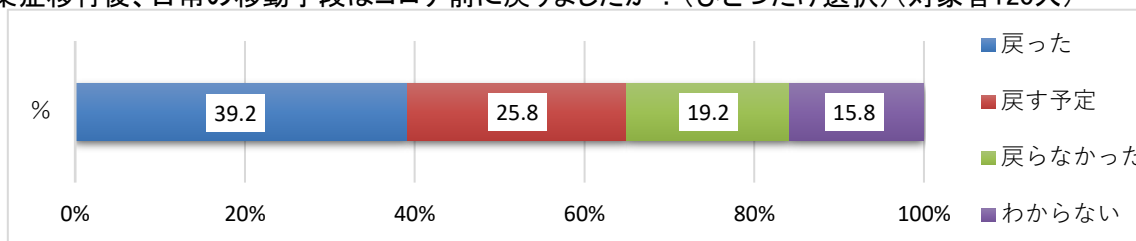
【Q12】Q10で「変わった」と回答された方にお聞きします。コロナ禍における日常の主な移動手段は何ですか？（ひとつだけ選択）（対象者120人）

内訳	人数	%
鉄道	7	5.8
バス	3	2.5
自家用車(自分で運転)	69	57.5
自家用車(家族等の送迎)	13	10.8
二輪(バイク・自転車)	21	17.5
徒歩	6	5.0
特になし	1	0.8
その他	0	0.0
合計	120	99.9



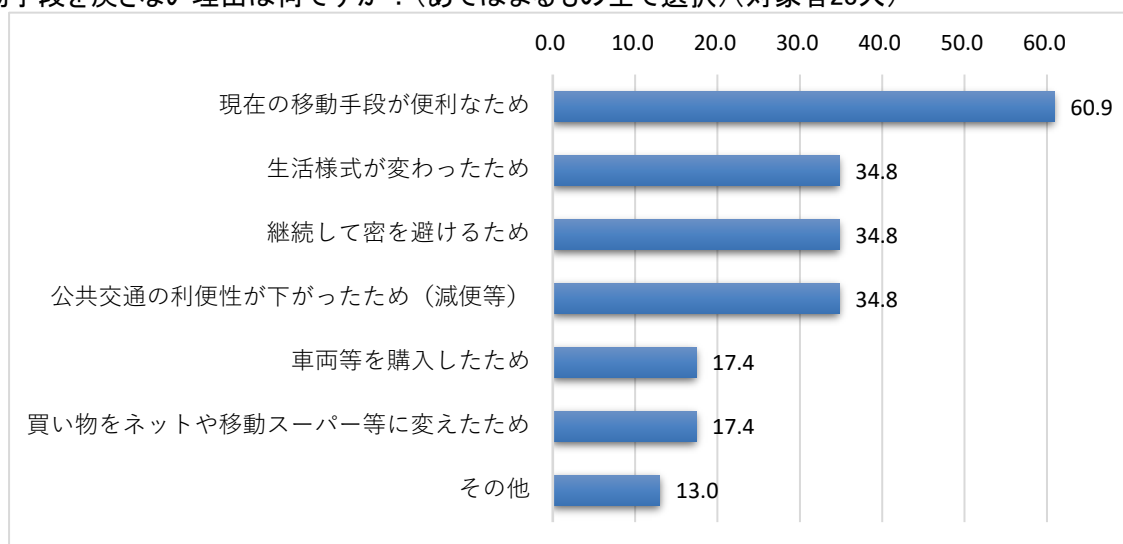
【Q13】Q10で「変わった」と回答された方にお聞きします。5類感染症移行後、日常の移動手段はコロナ前に戻りましたか？（ひとつだけ選択）（対象者120人）

内訳	人数	%
戻った	47	39.2
戻す予定	31	25.8
戻らなかった	23	19.2
わからない	19	15.8
合計	120	100.0



【Q14】Q13で「戻らなかった」と回答された方にお聞きします。移動手段を戻さない理由は何ですか？（あてはまるもの全て選択）（対象者23人）

内訳	人数	%
現在の移動手段が便利のため	14	60.9
生活様式が変わったため	8	34.8
継続して密を避けるため	8	34.8
公共交通の利便性が下がったため（減便等）	8	34.8
車両等を購入したため	4	17.4
買い物をネットや移動スーパー等に変えたため	4	17.4
その他	3	13.0
通院をリモートや往診等に変えたため	0	0.0



【Q10-1】その他(対象3人)

- 趣味や買い物のため大阪に電車を利用していたが、コロナ禍によって大阪に行かなくなった。5類移行しても大阪に行く頻度が極端に減った。
- 転居で環境が変わったため。
- コロナが不安

【Q15】新型コロナウイルス感染症による地域公共交通の利用実態の変化に関するご意見などありましたら、ご記入ください。（任意）

- そもそも公共交通機関の利用すること自体まれであるため、新型コロナウイルス感染症による変化はありませんでした。よりよい和歌山市になるようご検討ください
- 電車乗るのに躊躇しなくなった。
- 電車で無理に詰めてくる人が少なくなったように感じるし、距離をとりやすくなったように思う。
- マスクの装着は、はっきりとすべき。
- 非接触の決済手段は、感染症対策でも有効かつインバウンドの利便性においても有効な設備投資なので、市や県からバスや鉄道事業者に補助金など支援してあげてほしい。
- マスクなしで出かけるようになった。
- 新型コロナウイルス感染症は政府の分類が5類になっただけなので今でも予防には気をつけている。もともと公共交通はあまり利用せず外出は自転車か自家用車。公共交通に頼って生活している地域からの困っている声を聞くので、公共交通を必要としている方々が実態に即して利用できているか？というところを考えたいただけたら。便数やルート数が少ないと、バスで朝早く出かけて診察や買い物が終わっても帰りたい時間にバスがなければ不便で使い勝手が悪い。「儲からないから便数やルート削減→削減するから乗車する人が減って儲からない」という負のループを解決した自治体はないのでしょうか？
- コロナ前から移動手段は車でした。

- 普段車で通勤、買い物にいてます。それでコロナにかかる頻度も少ないと思いますが、やっぱりマスクを外して公共交通機関を利用して大阪神戸方面へ行ったらコロナになりました。
- 今またコロナ感染者が増えてきたので、外出を控えようかと考えたりしてます。
- 和歌山市は公共交通機関が不便で普段から利用頻度が少ない。子供が電車が好きでコロナ禍で人が少ない時間を選び電車に乗ったりしていた。
- バスが廃止になったので、利用出来ません。
- マスクマスクと言わなくなったのがありがたい。
- 普段から車移動なので、何も変わらない。
- 淡路島に車でいけるように、橋を作ってほしい。新幹線の計画があるなら尚更です。
- 飛行機や新幹線を使うようになった。
- 日頃からあまり出歩かないので、特に移動手段に変化はありません。ただ、中学校の先生が3人もコロナにかかった、など身近に聞くので未だに外出時のマスクは手放せません。
- インフルエンザやコロナ感染者が増える時期は、電車内は強制換気と乗人のマスク着用を義務付けてください。
- 公共交通機関は日常使わないのですが、旅行に行く時に使用するのに抵抗が無くなってきました。
- コロナ禍に和歌山市で暮らしていないのでなんとも言えませんが、今後色々な側面から、自家用車ではなく、安心安全な公共交通機関の発展を望みます。
- コロナ前は大阪や東京などに出る機会が多く、電車や飛行機などを利用する機会も多かったが、コロナ禍で公共交通機関を利用する機会が激減した。
- もともとあまり、公共交通機関を使わないうえに、コロナ禍で遠方にでかけなくなったので。
- バスや電車はあんまり使いたくないなあ、という気持ちにはなったが、5類になったことで、まあ使っても良いか、という気分にはなった。
- 元々地域の交通機関利用しないので、自家用車で自分運転で出かけます。家族が高齢者のためどうしても病院等に連れて行くのに、近くの駅迄行くのに不便、自家用車でないと移動できないです。
- 公共のバス停が廃止になり、電車しかない。和歌山市内ももっと便利に使えるようになって欲しい。
- マスク着用が自由になり、コロナも感染者数が増えている中、公共交通機関を利用するのが以前より慎重になった。
- 電車・バスはどうしても、密集・密閉になりやすいので、マイカーを利用する機会が増えた。
- 普段は自家用車中心の移動でコロナ以前から変化はないです。ただ旅行等行く機会が増え公共交通機関を利用する事もあります。コロナが5類になってからは気持ちの変化もあって、人が多くても気にならなくなりました。
- 幸いなことにコロナ感染をしていない為、最初は危機感がありましたが、変わりなく日常生活を送っております。交通公共機関につきましては、利用しておりません。
- 和歌山県内の移動は変わりませんが、子供が産まれたこともあり、電車を利用して大阪に行くことがコロナ以降はないです。
- そもそも自身はコロナ時期も何も気にせず生活してましたが、周りの行動は明らかに自粛ムードから一変して街に人が溢れてまったく気にせず行動してる人は増えました。
- マスク着用の徹底しかないと思う。
- もともと車移動がメインです。ただ、旅行は減って、車で行ける範囲になったので、今も電車は使わないようにしています。
- マスクを外すのは容認できますが、おしゃべりはやめてほしい。



- コロナ感染対策が緩くなった。マスクやアルコール消毒、3密対策への意識
- 近隣の移動は自家用車を利用する事が多く、これは以前から変わっていない。たまに利用していたバスを利用する事はコロナ禍においてゼロになった。今後は少しずつ機会を増やしていきたいと思う。
- 和歌山バス車両について:すべて大型バスではなく、乗車人数と時間帯を路線ごとにデータ化して乗車率が高い時間帯は大型車両、昼間の少ない時は中型車両、時間帯によっては小型で路線を頻繁に走るタクシー型シェア運行などを考えてはどうでしょうか。すべて大型バスというのは経費的にも無駄であるし、環境への配慮も乏しい。
- 通勤等に利用していませんので、日中等は支障なく利活用できました。
- 鉄道を利用することが増えた。
- 未だマスクは外せませんが、バスに乗って出かける機会が増えましたが、マスクをしていない人がいるとやはり心配になります。お盆休み以降は又増えてきたみたいだし、私の周りにも感染した友達がいて又不安になり、バスに乗る機会が若干減ってきています。5類に変更して治療費がかかるのも大変らしい。少し早かったのでは無いかと思えます。
- ウイルスは消えていないのだから、解除後であっても必要最低限の利用になるようにしている。マスクなしで密集する場所に行きたくない。
- バスの本数が減って困っている。
- 1、公共交通においてマスクの着用や手指の消毒、換気改善等の行動規制はうまくいった感がある。2、他の災害時にも有効と考えられるが、自転車や徒歩移動の増加にともなう地域の公共交通との連携や街路での休息場所等対策が不十分だった。3、ただ今回の感染症流行による影響により公共交通機関の利用に大きな変化をもたらす再考させる機会が生まれたことはよかった。
- 公共交通の利用実態には関係ないが、以前のように毎日の陽性人数を知らせてほしい(感染の様子がわからない)。
- もともと公共交通機関が少ないので自家用車を利用するのがほとんど。
- インバウンドもあるので余り利用したくない。皆んなが油断しているのがコロナ禍以上に怖い。
- 日常、自家用車でしか移動しません。
- 公共交通機関では様々な事情の方がいる、距離を保つのが難しいなど考えるとやはり、マスクをしないのは気になります。
- 変わらないと思う。
- バスなどに乗る時のみマスク着用している。
- 公共交通は家から遠く使える距離にないので、以前も今も使っていません。
- コロナ禍で控えていた、大阪方面の買い物などで、電車を利用する事が増えた。
- 相変わらず人混みを避ける気持ちに変わりなし。外出は遠出をしなくなりました。
- 和歌山市はJRと南海で生活範囲が分断され、もったいない市のつくりになっていると感じています。行き来しやすいよう、シャトルバスをピストン運行、LUUP等レンタサイクルの活発化など、市内の行き来、しいては観光客の呼び込みもしやすくなるのではと考えます。
- まわりが変わっただけと思う。
- 和歌山線が午後だと1時間に1本しかないので、なかなか選択肢にあげられない。
- 公共交通を日頃から、あまり使っていない。
- コロナになって利用者が減り、また運転者不足で公共交通の本数が減っていると聞きましたが、高齢者の免許返納のためにも何とか公共交通の充実を望みます。

- バスや電車に乗るのをできるだけ控えていたが、現在は気軽に乗るようになった。
- コロナ感染症の流行時(テレビで頻繁に報道がされていた時)は公共交通を利用した移動を極力回避するように意識して行動していた。
- 新型コロナ禍を恐れるあまり、エネルギー効率の劣る自家用車を使って地球温暖化を加速させれば、人命に関わる災害が増加する。医療崩壊でコロナ以外の医療が非正常化する懸念は理解するものの、長期的視点で政策を立案いただきたい。
- 廃止してほしいので、和歌山電鐵には極力乗るようにしていますが、そもそも自身の外出の頻度が減ったように思います。和歌山電鐵の乗車率も目に見えて減ったようで、心配です。
- 飛行機は減便のままなので、もとの活気に早く戻ると長期休暇等の過ごし方の選択肢が増えると思う。
- 混雑時は電車よりバスを使う頻度が高くなった。大阪に行く機会が激減したので電車に乗る頻度は低下した。
- 行政から企業の出勤時間の分散化(時差出勤等)の推進促進への働きかけ等を検討して欲しい。
- 和歌山線の本数が減ってしまい、通学時待つ時間が長くなっていることが多い。
- 利用していないから分からない。
- 和歌山バスさん、しっかり窓を開けて換気してくださっているので安心して乗っています。
- 皆さん、神経質になり過ぎではないでしょうか。公共交通利用客の中にも、マスク着用しない方もチラホラ見受けられます。予防というより、感染したら、その時対応したらいいのでは?という風になってきているように思います。
- 和歌山は車がないと不便だとよく聞きます。コロナ前から自家用車の使用が多かったので、特に変わりありません。
- 年々、不便になっている。
- 和歌山市内の移動であれば100%自家用車で移動なので変化はない。地域公共交通はそもそも便が少ないのでコロナでなくても利用はほとんどない。
- 県外、近畿圏へ移動の時は混雑を避けるために特急に乗車することもありました。若干出費はかさんでも特急に乗りたい、自家用車で移動したい、との思いは持ちました。バスは避けたかったです。
- 人がいる中でマスクもせず、押さえもせず、咳やくしゃみをする人が多いのが嫌です。
- 普段から通勤や買い物等は自家用車で全く変化はありません。仕事面でコロナ禍はリモート商談が主でしたが5類移行後は元の対面に戻った。
- もともとが通学通勤をするわけではなく、定期的に特に決まったところへ出かけるわけでもない。コロナによって生活に特段の変わりはなく、コロナ前、コロナ禍、5類感染症移行後も同じような生活をしている。
- そもそも、地域公共交通を利用していない。
- 電車、バスなど全く乗らない。講習などで交通機関を利用してくださいと言うのも全く利用しなくなった。
- シートに詰めて座らないようになった。
- バスが本数や路線から考えて不便なのでもともとあまり使用しない。
- 夏なのでどうしてもバスの中でマスクを外してしまいます。
- 元々、家族に自家用車で送迎してもらうことが多いので、これからは努めて、電車やバスを利用していきたいと思います。
- 電車やバスの方は学生さんが居ない時間であれば喋っている方は殆どいないので安心して使ってます。ただ県外へ移動しなければならない時、駐車場が無い所への移動で電車やバスに乗るのにはまだ少し抵抗があります。私自身は暫くはマスク使用するつもりです。やはり重症化が怖いので薬が出来るまでは安心出来ません。

- わが家の前はバス停です。乗降数に変化はありませんでしたが、時々マスクを捨てて乗降する人があり、モラルの低さを嘆かわしく思い、回収廃棄に細心の注意を払いました。
- 通勤通学ラッシュ時間避けて、空いてる時間に利用するようしてる。
- ほぼ公共交通機関を使わないのでわかりません。
- コロナ前も車での移動がほとんどだったので、コロナ中、後も移動手段は変化なし。
- 車移動なので変化なし。ただし5類になってから休日の交通量が増えている気がする。
- そもそも和歌山市の公共交通は殆ど機能していないに等しいのでは？
- コロナが流行ってからは、たまに使っていたバスや電車、タクシーは全く使用しなくなりました。理由は小さい子供がマスク着用や黙っていることが無理だからです。感染しているのに電車やバスを利用している人もいたので、怖くて密室は無理です。換気の徹底がされていれば安心です
- 普段から公共交通の利用がありません。和歌山バスの本数がもう少し多いと利用したいと思いますが。
- 和歌山市内に出る際は車、バス利用なし。
- 結局感染者が現在も多いので、どのようにしたらよいか困る。
- コロナ禍の状況で、どの交通機関も本数を減らした。5類移行後、コロナ禍前の通常の生活とほぼ変わらない状態になってきたので戻してもらいたいが、乗務員不足などの問題があり難しいだろうと思う。
- 市営のバスが減少した為、通勤が不便になった。他の人は益々電車バスを利用しなくなる悪循環に。運賃を上げてても良いので元の時間帯に継続して欲しい。
- 和歌山は車社会だからあんまり関係無いと思う。
- ようやくマスクをしていない人が増えたので電車の中でも肩身の狭い思いをしなくてすんでいます。
- コロナに関係なく、元々自家用車を利用する方が多い印象で、公共交通へのアクセスもしにくいように思います。ウォークアビリティを高めるためには公共交通の利便性は必要不可欠かと思います。

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

皆さまからいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、本市の公共交通に関する施策を推進してまいります。

回答結果につきましては、アフターコロナにおける交通政策を考える上での指標として活用させていただき、和歌山市地域公共交通計画及び和歌山市都市・地域総合交通戦略の改定につなげていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力いただきますようお願いいたします。